

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2022年7月号

森のおくりもの 7

NO.370 The Gift from Woods

ヒメキマダラセセリ（セセリチョウ科）



葉の上で休んでいる黄色のチョウが目にとまりました。自然観察の森では、昨年48種類のチョウを観察することができましたので、これから咲き始めるオカトラノオ、アザミなどに蜜を吸いに訪れるたくさんのチョウたちの姿を楽しむことができると思います。自然観察の森の西側、観察の森入口から近い場所に「蝶の野原」と呼ばれる広場があり、アザミの葉の上にヒメキマダラセセリを見つけました。ここでは、カタクリが咲く頃にはヒメギフチョウが舞い、季節が変わると同時にシロチョウやアゲハチョウ、タテハチョウなどチョウの出現状況も変わりますので、何度来ても新しい発見がある場所です。また、この時期はクロアゲハの幼虫を観察できる場所もございますので、自然観察の森にお出での際は、センターにお立ち寄りいただき、ぜひ自然情報を入手して下さい。

【文：館長 佐藤由美】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『日日是好日』（にちにちこれこうにち）

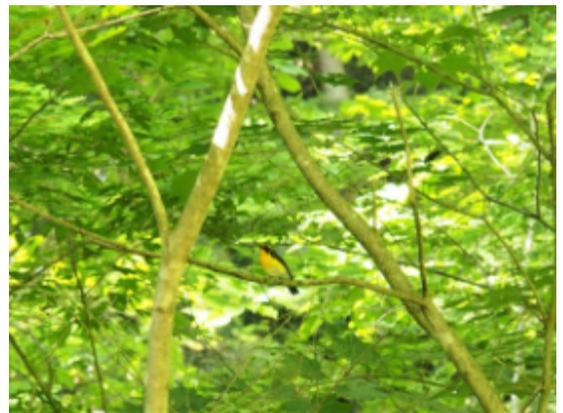
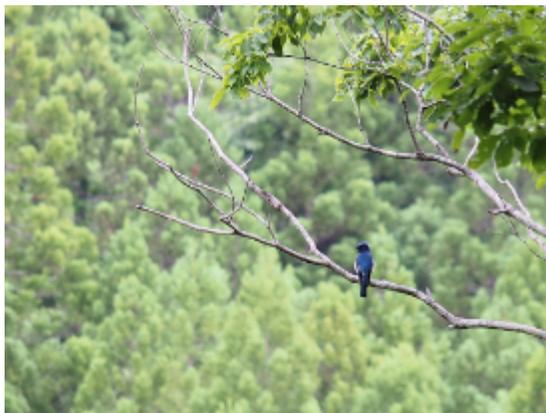
初夏の森を歩くと様々な鳥のコーラスが心地よく響き渡ります。葉が茂って緑が深くなると、鳥の姿はなかなかみつけられなくなりますが、運良くオオルリと出会えた日がありました。オオルリは、春に南方から渡って来る鳥で、オスの青くて美しい姿から瑠璃三鳥に、美しいさえずりから日本三鳴鳥になっています。いつでもどこでも見られるとは限らないこともあり、「幸せの青い鳥」と呼ばれる鳥の一種で、見られたら嬉しくなります。

幸せの青い鳥といえば、ベルギーの劇作家メーテルリンクの有名な童話劇『青い鳥』が由来となっていますが、作品の中の青い鳥はキジバトのようです。キジバトは、首に青くて美しい色の部分がありますが、全体的には地味でどこにでもいる鳥なので、幸せは案外身近なところにあるという意味に合っていると感じました。チルチルが青い鳥は自分たちが飼っているキジバトだと気づいて、「なんだ、あれが僕たちの探している青い鳥なんだ。僕たちはずいぶん遠くまで探しに行ったけど、本当はいつもここにいたんだ」というセリフがあります。私たちは、作品の意図とは違う“四つ葉のクローバー”のような幸せの象徴として『青い鳥』を解釈してしまっているのではと思いました。

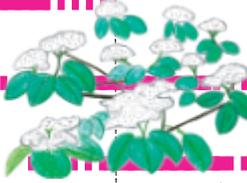
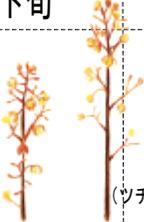
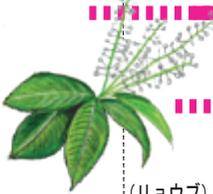
『日日是好日』という禅の言葉があります。辞書には「毎日毎日が無事でよい日であること」と記載されています。この言葉の意味には、禅の教えでは何かと比較する考え方を戒めているため、「悪いことではなく良いことが毎日続きますように」と受け取るのではなく、「毎日身近で起こる些細なことや日常の何気ないこと全てが素晴らしい」などの深い解釈がされるようです。私は、この禅の教えと『青い鳥』で伝えたいことが似ていると感じ、『青い鳥』はすごく深い童話なんだと思いました。普通は、より幸せになれるよう願いがちです。メーテルリンクは「考えているより、ずっとたくさんの幸福が世の中にはあるのに、大抵の人はそれをみつけられないだけなんだ」と言っています。

オオルリを見られても見られなくても、どんな季節や状況でも自然は素晴らしいということ、これは納得です。因みにキジバトは、幸運、愛情、友情の象徴になっています。美しく珍しい鳥の方ではなくて、ありふれた身近な鳥が、本当の幸せの青い鳥だったのです。

【レンジャー：新田隆一】



7月の生物ごよみ

植物	6月		7月		8月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
オカトラノオ						
クマノミズキ						
ツチアケビ						(ツチアケビ)
ネムノキ						
リョウブ						
ヤマユリ						

6月16日に自然観察の森にある『カモの池』でセンターで展示するため、魚の採集をしました。夕方にビンドウを静かに上げると、たくさんのフナやモツゴに交じって1匹、ヒレの長い魚が入っていました。色は鉄錆色で特に尾びれが長くフナの顔をしています。瞬時に頭をよぎったのはテツギョという魚です。テツギョとは各ヒレが伸長したフナの呼称であり、特に1933年宮城県魚取沼(ユトリヌマ)で見つかったこともあり、宮城県魚取沼一帯に生息しているテツギョは国の天然記念物に指定されています。テツギョはフナの突然変異種として現れたのか、フナと金魚の交雑によってできたものなのかは明白ではありません。ヒレの長さも長尾型と短尾型の2種類があり、色にも変異があります。魚取沼以外でもテツギョに似たものは見つかっていますし、飼育できる天然記念物と称して天然記念物に指定される前に採取された個体が魚取沼系のテツギョとして販売もされています。ここカモの池は昔からある貯水池で、突然変異によって生まれたのかもしれない。謎は深まるばかりです。この魚をテツギョと呼んでいいのかわかりませんが、見た目はテツギョそのものです。みなさんはどう思われますか？自然観察センターの120cm水槽に展示していますので是非見に来てください。【レンジャー: 齋 正宏】



左が今回採集された魚。体長15cmぐらい。尾びれが明らかに長い。右はキンプナ。

※ビンドウ 小魚を傷つけずに捕獲する道具。透明な漏斗状のもので小魚がいったん中に入ると出られなくなる仕掛けになっている。

森の「あれこれ」



「森一番のフルーツは！？」



梅雨の季節になった観察の森では、あちこちで小さな木の実を目にします。これが結構美味しい（個人の見解です）。ヤマグワの実やヤマザクラやチョウジザクラなど、ウグイスカグラの仲間など、子供の頃に食べた事のある方もいるのではないのでしょうか。では一番美味しいフルーツは何？と聞かれれば、「モミジイチゴ」と私は答えます。



オレンジ色に輝く果実を指でつまんでほろりと取れば熟した証拠(上の写真左)。絶妙の甘みと酸味、ジューシーな味わいにうっとりします。ところで美味しい実の中にあるつぶつぶの種(写真右)だけを残してかじってみると苦くて渋い事に気がつきました。先日のガイドで(観察の森は採取禁止ですが体験のため希望者に食べてもらいました)「どうして実は美味しいの？」とたずねた答えが「食べてほしいから」。おお！その通り！モミジイチゴは鳥や獣に食べてもらって遠くに運んで欲しいのでしょう。「じゃあ種が渋いの？」「かじって欲しくないから」。自然のしくみって、シンプルに考えた方が理解しやすいのかもしれないね。この事は売っているイチゴの種でも確認できます。試してみると面白いですよ。【レンジャー：木田秀幸】

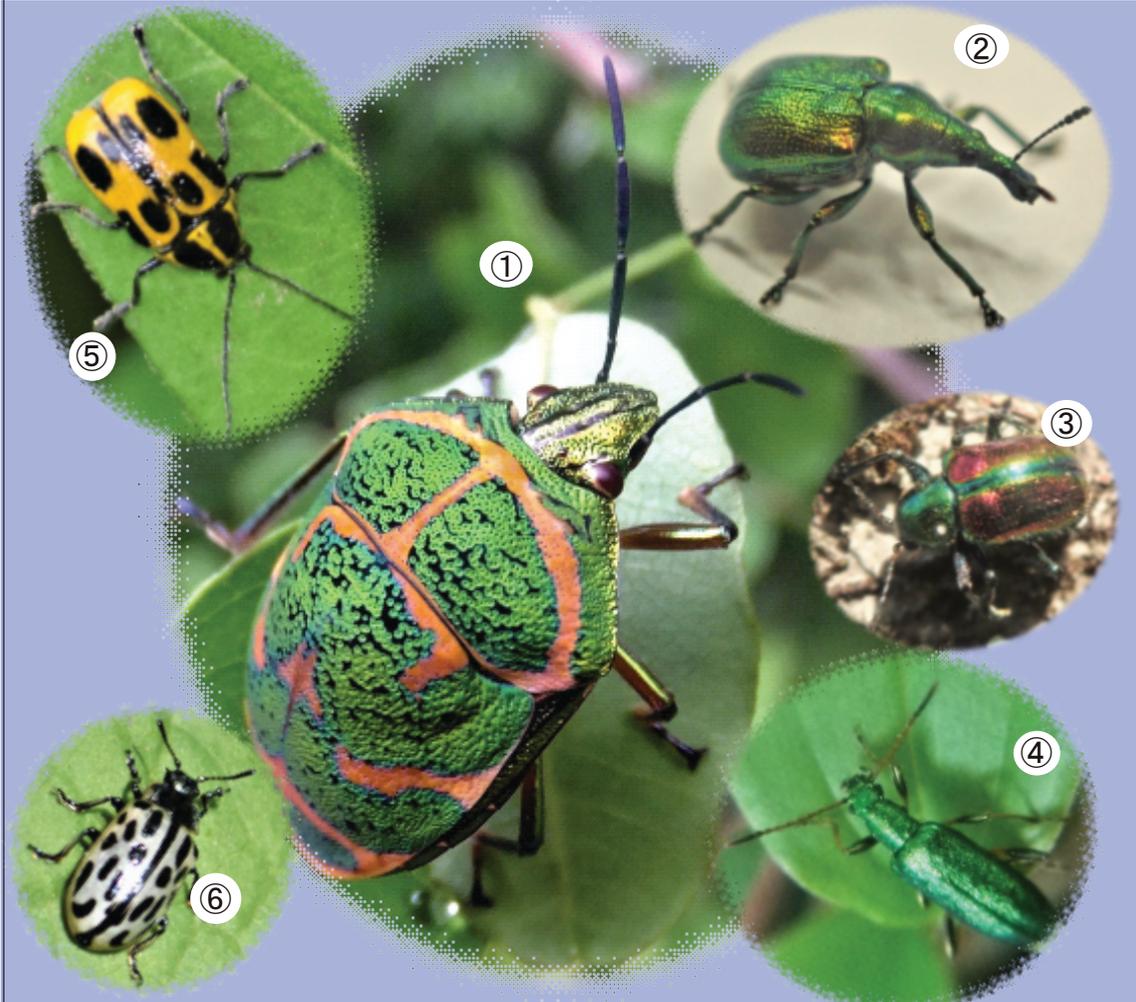
森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

月あたりの昆虫出現種数が最も多くなるのが6月から8月にかけての3か月間です。1月当たりおよそ120種類の昆虫が観察されます。アゲハやトンボ、カブトムシなど大型で目立つ昆虫以外の小型の昆虫や、嫌われ者のカメムシの仲間には驚くほど美しいものがいて驚かされることがあります。虫メガネなどでじっくり観察すると今まで気付かなかった昆虫の美の世界に吸い込まれそうになりますよ。… (^_^)



①はアカスジキンカメムシです。幼虫の時には黒地に白の模様が人の笑いのような姿ですが、脱皮して成虫になるとご覧の通り、緑に赤い筋がとともきれいですね。頭の部分は金光して豪華ですね。②はドロハマキチョッキリ、③はアカガネサルハムシです。ともに緑や赤金色の金属光沢で宝石のようです。体長は両方とも5から7ミリメートル程しかありません。④も緑色の金属光沢をしたアオハムシダマシです。形はなんだかカミキリムシに似ていますね。体長は1センチメートル程しかありません。⑤はヤツボシハムシ。黄色の下地に黒い点が8個。おしゃれですね。⑥は点の数がさらに多いヤナギハムシ。小さな昆虫ワールド、素敵でしょ。(^_^)【レンジャー：菅原幸彦】

7月のイベント & お知らせ

イベント

新型コロナウイルス感染拡大や天候の急変等でイベントについても変更となる場合がありますので、観察の森のブログ等でご確認お願い致します。

◆「森のアート観察会 クモウオッチング」

【日 時】7月16日(土)10:00~12:00

【対 象】小学3年生以上 10名 (中学生以下は保護者同伴)

【内 容】クモの芸術性に注目して観察し、自然のアートを楽しみます。

【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、虫よけ薬、歩きやすい服装と靴

【申込み】7月6日(水)午前9時より電話受付(先着)

◆「どうぶつの森観察会」

【日 時】7月23日(土)10:00~11:30

【対 象】小学生以上 15名 (中学生以下は保護者同伴)

【内 容】観察の森にいる野生動物や生活の痕跡を探して観察します。

【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、虫よけ薬、歩きやすい服装と靴

【申込み】7月7日(木)午前9時より電話受付(先着)

◆「セミの羽化を観察しよう！」

【日 時】7月23日(土)19:30~21:00(雨天中止)

【対 象】小学3年生以上 20名 (中学生以下は保護者同伴)

【内 容】地上に出てきたセミの幼虫を探して羽化を観察します。

【持ち物】懐中電灯、飲み物、虫よけ薬、歩きやすい服装と靴

【申込み】7月8日(金)午前9時より電話受付(先着)



ガイドウォーク 毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます。

開催日: **3日, 10日, 17日, 24日, 31日**
時 間: 10:00~11:30, 13:30~15:00
(午前と午後の2回開催)

休 館 日



4日, 11日, 19日, 25日
毎週月曜日休館、月曜日が
祝祭日の場合は火曜日休館

観察の森へのアクセス

宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

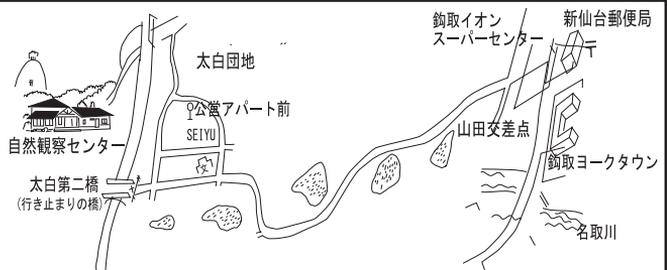
【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」

※③のみ可「太白団地、山田自由ヶ丘経由由仙台南ニュータウン行」

いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター